

「浜松の魅力」を中国の若者へ発信



キーワード: サステナブル・ツーリズム、中国の若年層、地域観光、浜松

○活動に取り組んだきっかけ・背景

近年、観光庁のデータでは、訪日中国人消費者のメイン層は 20 代～30 代の若者であり、彼らの趣味や嗜好を把握する事は、訪日中国人向けの対応において非常に重要になります。本企画は教養演習の授業の一環として、「浜松の魅力」をリサーチし、中国の日本語学部にも所属している大学生に発信する実践教育を行った。

○活動の目的

新型コロナウイルス感染拡大の影響により海外からの観光客が大幅に減り、全国の観光産業・観光地が厳しい状況に置かれていますが、地方経済がコロナ禍から立ち直り、持続的な地域観光計画を実現するためには観光地の再生が不可欠であり、これを支える観光産業の強化を推進していくことが必要です。教育と持続可能な観光(サステナブル・ツーリズム)における SDGs の達成に関心を高めることを目的とした。

○具体的な内容

観光はサステナビリティの基本要素である経済・社会・自然に加え、人が創り出した文化も重要な視点として考えられます。本企画では具体的な活動として、以下の四つの側面についてデータ収集や分析、スライド作成を行い、中国の大学生に発信することとした。

1. 地域の食文化をリサーチし、「SAVOR JAPAN」ブランドでの一体的な情報発信を実施する。
2. 文化的な要素に対する知的欲求を満たすため、地域の歴史、伝統をと調べる。
3. 学びや体験を伴う歴史的・文化的価値のある工場や最先端技術を備えた施設等を紹介する。
4. 観光地の魅力向上のため、交通サービスをリサーチし、中国へ発信すると同時にアンケート調査を行う。

上記をもとにして、中国の若年層の旅行需要を喚起するための意義・啓発となる「浜松の魅力」を発信することとした。

○期待される効果など

「浜松の魅力」を海外メディアやウェブサイト・SNS 等を利用して、積極的に情報発信を行うことで浜松の認知度アップに期待できた。



教員名 ニー ウエイ
所属学部・学科 経営学部・経営学科
職位准教授

連携先 中国・浙江越秀外国語大学
中国・山東外事職業大学